

# 日本

## 体操団体

# 銀



体操の男子団体総合で銀メダルを獲得した（左から）加藤凌平、田中和仁、山室光史、田中佑典、内村航平



競泳で銅メダルを獲得した（左から）鈴木聡美、入江陵介、寺川綾



ロンドン五輪

ロンドン五輪は30日、体操の男子団体総合決勝を行い、一度は4位と結果が出た日本は最終種目のあん馬で

内村航平（コナミ）の得点に対する抗議が認められ、見直された採点で0・7点上がり、合計271・952点

で2大会連続の銀メダルを獲得した。中国が275・997点で2大会連続の金メダル。予選1位の米国は5位だった。

日本は最初のつり輪で好スタートを切ったが、2種目目の跳馬で山室光史（コナミ）が着地に失敗して負傷し、中国に逆転を許した。あん馬では山室の代わりに演技した田中和仁（徳洲会）が落下し、内村も降り技で失敗したが、2004年アテネ五輪金メダルから3大会連続の表彰台を確保した。

一方、競泳の女子100メートル背泳ぎで27歳の寺川綾（ミスノ

が自身の日本記録を0秒25更新する58秒83で3位となり、日本の競泳女子史上最年長のメダリストとなった。男子100メートル背泳ぎの入江陵介（イトマン東進）は52秒97で、女子100メートル平泳ぎの鈴木聡美（山梨学院大）も1分6秒46で銅メダルを獲得した。

男子200メートルバタフライの松田丈志（コスモス薬品）は準決勝トップの1分54秒25で決勝に進出したが、金田和也（金田SC）は10位で敗退。女子200メートル個人メドレー準決勝の加藤和（山梨学院大）は14位、同200メートル自由形準決勝の伊藤華英（セントラルスポーツ）は16位で、ともに決勝に進めなかった。

男子200メートルバタフライの松田丈志（コスモス薬品）は準決勝トップの1分54秒25で決勝に進出したが、金田和也（金田SC）は10位で敗退。女子200メートル個人メドレー準決勝の加藤和（山梨学院大）は14位、同200メートル自由形準決勝の伊藤華英（セントラルスポーツ）は16位で、ともに決勝に進めなかった。

# 寺川、入江、鈴木が銅 競泳



発行所  
山形新聞社

山形市旅籠町2-5-12  
電話 代表023(622)5271  
Copyright (c) 2012  
Yamagata Shimbun

2012年  
7月31日  
〈火曜日〉

速電  
報版子

購読申し込み  
(9-17時)

0120-81-8040

やまがた  
ニュースオンライン  
yamagata-np.jp

携帯・スマホ  
yamagata-np.jp  
/mobile/



詳しくは山形新聞を  
ご覧ください。